

### 現場（現物）を知る

現場（現物）の確認を行います。直接確認することを希望しますが、オンラインでも可能です。現物をお預かりします。配送でも可能です。



### 提案する

イメージや方向性を共有し、デザインを提案します。



### 洗う

描く前に洗います。刻まれたものや染み込んでいるものは受け入れます。



### 制作する

デザイン画をもとに、鉛筆か木炭で下描きをします。アクリル絵具を使い着色します。染み込んでいるものが絵具を弾くこともあります。仕上げにアクリル絵具用の画面保護剤（定着スプレー）を吹きかけます。アクリル絵具だけでも耐水性はあり重ね塗ることで衝撃に強くなりますが、保護剤を吹きかけることでより耐久性が上がります。



### 納品する

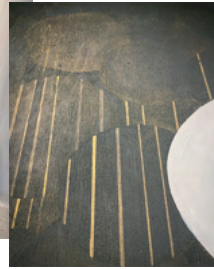
お互いの予定をすり合わせ納品日時を決めます。できれば直接納品を希望しますが、配送でも可能です。



価格の目安（税込）  
襖1枚 ¥100,000 ※約180×90（cm）  
ご相談、お見積りは無料です。  
かかる交通費や配送料は別途実費請求となります。



引き続き、デザインはその時の私の感性に委ねていただきました。



一度塗りではなく、絵柄を取り込みながら何層にも重ねて塗ります。



一作目のテーマは上昇でした。二作目は、保っている雰囲気や漂わせながらもリズムを感じることができると感じました。



三作目は、湧き出る、生まれる、そこからまた始まる、流れ動く、次へ向かう、その様にデザインしました。



この作品には「第二の人生」「再生」という意味が込められています。それは当時の私自身の立ち位置でした。YT様のご要望を伺いながら、このように私らしく描かせていただいたのはありがたいことでした。私にとって作品は子供のような存在ですが、お客様がお手元に作品を迎えてくださる時、まるで子供の巣立ちを応援するかのようで、そこから始まる次のステージを想像します。

納期の目安  
制作には1点1~2ヶ月ほどいただいております。スケジュールなど状況次第となりますので、お問い合わせの際にご確認ください。



環さんの描く作品と初めて出会ったのは、彼女の個展だった。大泉のお蔵の様な雰囲気やギャラリーだったと思う。出会ってすぐ「これを探していたんだ」という思いが込み上げてきた。ほんのり明るい室内の壁際に佇む古い建具に描かれた作品たち。きつと何度も塗り重ねたであろう「白」や「赤」が複雑な表情の暗い色の世界に灯りを灯している様だった。他にも何人かいたお客様達と話している環さんを他所に、私は何度も作品たちの前を行ったり来たりしながら、自分の頭の中にあるアイデアが実現するのか？と考えていた。私のそばに来てくれた環さんに向かって「私の家の襖に描いてもらいたい。」という言葉が、まるで生き物の様に私の口から出て空中に浮かんだ。突然の私の言葉に環さんもちよっと面食らったんじゃないだろうか？その後作品たちについて色々話しながら、さっき私の口から出た言葉を、私自身も環さんもうどうしたものかと思っていたと思う。その時はそれ以上具体的な話にはならず、彼女の小さな作品の一つ手に入れて帰宅した。その後話す機会もありません。環さんの次の個展に行った。作家の変化を感じる作品だったが、以前から抱いていた気持ちをさらに強める時間にもなった。その時環さんが「あの時ユキさんに言ってもらったことが嬉しかった」という様なことを言われた。もう、そう言われたら止められない！「じゃあ描いてください！」「え？ほんとですか？じゃあ、描かせてください！」そんな感じだったかなあ。。そのあとは、さっさと予定を決めて、とにかく下見に来てもらうことになった。我が家には何匹も猫がいる。そこらじゅうの戸は引っ掻いたり、爪を研いだりする場所になっている。ということで襖は経年変化と猫達の仕業で傷だらけだ。それは仕方ないことだけど、見栄えが悪すぎる。何かいい解決法はないか？そう思っていた時に出会ったのが、環さんの作品だった。戸板に直接絵を描いて一つの作品になっている。これが我が家で実現したら？と考えたらドキドキワクワクするじゃないか！ということで環さんをお願いしたシリーズは、この度一先ずコンプリートした。最初に作品を見てピンときてから、どのくらい経ったのだろう。アーティスト環の変化、依頼した私の変化、そして納品された作品も少しずつ変化をしていく気がする。日常の中にアートを迎え入れる。作品でありながら、我が家の一部でもある。毎日当たり前の様に触れるアートだ。次はどこに描いてもらうか？そんなことを早くも考えてしまう。あの時出会った環の世界を我が家に取り入れるというアイデア。今こうして日々を過ごす部屋の一部になったことが、何だか当たり前の様に感じるのが「不思議」だ。（ご依頼いただいたYT様の声）



現在私は、主に黒と白と金を使います。十年後は違う色を多用しているかもしれません。その時々で表現したいことに素直でいられたらと思っています。そんな私のあり方を理解し機会を作ってくださいYT様に、心から感謝申し上げます。皆様へ、例えば「かわいい絵を描いてほしい」といったご要望にはお応えできませんが、Accept and be reborn（受け入れて生まれ変わる）、このコンセプトのように、痛んだり古くなったりした状態を受け入れて、私というフィルターを通して、新しい空間を描きたいと思っています。（環 -tamaki-）